

2024年度商社リーグ 第1回代表者引継ぎ会議 議事録

日時	2024年7月29日(月) 19:00-21:10
会場	住友商事本社、ZOOM
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	阪和興業/上田、米山

議題		出席者	
1 24年度リーグ概要の共有 2 開幕までのスケジュールの共有 3 各幹事からの決意表明	役員会	金田会長、高柳、筒井（Zoom:浅井、赤司）	
	丸紅 豊田通商 阪和興業 双日 兼松	中川、山本 上田、米山 佐藤、中井 曾根原、梶原	三井物産 伊藤忠商事 日鉄物産 住友商事 JFE商事 古市、周藤 山田、小坂 川上、阿部 小山、倉持 小笹、野村
1 対応事項	内容		期日/担当
① 商社リーグ参加費の振込	各チームにて参加費22万円の支払い		8月5日(月)/各チーム
2 決定事項	内容		期日/担当
①			
3 情報共有及び注意喚起事項	内容		期日/担当
① 4Pマインドの周知、徹底	運営要綱、幹事マニュアルを各チームで読み込み		8月5日(月)/各チーム
② 23年度表彰式・フットサル	23年度表彰式、フットサル開催のリマインド		8月3日(土)に実施
4 意見交換及び審議事項	内容		期日/担当
①			
5 講義及びその他	内容		期日/担当
①			

<内容>	
1. はじめに	
金田会長	まず商社リーグ解散か改革かという議論になっている状況であることを理解してほしい。 Executive educationの分野で6年連続世界1位のビジネススクール、IESEの日本人アンバサダーである金田会長より、 1.Value Proposition:自社しか提供できない、競合他社が提供できない顧客が欲しがっているValue。 →自社、自身ひいては商社リーグのValue Propositionを考えて欲しい。 2.上場している会社の社長の場合、短期的な利益か中長期的な利益どちらが大切か、答えは中長期的利益。 →実情は上場企業の役員レベルでも短期的目線で話をしていることが多い。本来は中長期的目線で経営すべき。 3.評論家VS事業家どちらが大事か、答えは事業家。 →言うは易し、実行することが一番難しい。評論家（＝物事の批判や口出しばかりする人間）が多い世の中になってしまっているが、世の中を動かしていく、改革を起こしていくのは事業家である。 2 について、個人としては営業＝結果を重視する立ち位置 にいる分短期的利益が大切だと考えたが、企業目線では長期的利益に目を向けるべき賛同。 会社でも、“責任が伴わないため評論家になるな”と言われている。自分自身も理想論を掲げるだけで終わらない様にしたい。 社会人1年目として、批評するだけではなく行動を起こせる様意識していきたい。 Value Propositionに共感。外食産業の事業会社へ出向中だが、より一層競合との差別化を意識する必要がある為、それがうまく言語化されていて共感できた。 Value Propositionに大きく共感。本会議の内容をチームに還元することが今すぐ自分が提供できるValue Propositionだと感じた。 商社リーグのValue Propositionは、同じ会社の仲間とプライドを掛けて他商社と勝負できることだと考える。 商社のコミュニティだけで商社マン同士でサッカーができ、厳密な仕組身の上で30年間データが残っていて一番歴史の長いリーグはここだけ。 Value Propositionを理解していて評論家にならず動ける人がいなければ、この代でリーグを終わらせたい。
2. 商社リーグについて	
役員会/高柳	・商社リーグとは 50年以上の歴史がある商社リーグであるが、続けてこられた訳は自主運営こそにある。 伊藤忠丸紅鉄鋼・丸紅・三菱商事・阪和興業は今年度辞退であるが、役員会からもコンタクトを取りながら進めていく。 ・ヒストリー 運営負荷を軽減できる様試行錯誤して続けてきた。辞退を含めた12社は商社リーグの理念に賛同した上で参加していただいている認識。
金田会長	・コアバリュー Core Value 4P（Pride・Passion・Punctual・Professionalism）の重要性。 Pride: チームを背負って戦うPride Passion: サッカーに対する熱いPassion Punctual: 参加者、運営者双方において必要なPunctualの意識 Professionalism: 参加者立場のみならず運営の立場に立ってリーグに参加するべきという点でのProfessionalism →4つPを軸にオペレーション、追究していく。
役員会/高柳	・組織と運営体制について 自主運営をやっていくためのコミットしていくために役員会、主幹事、副幹事の関係性、担当役割を認識して欲しい。 ・2023年度リーグ戦結果 23年度一部リーグは伊藤忠商事が優勝、2部は双日が優勝。 入れ替え戦は丸紅VS双日、双日の勝利。兼松VSJFE商事、兼松勝利。 参加チーム数の事情により兼松VS双日が24年度の一部リーグ参加チーム決定試合を実施、双日が一部リーグへ昇格。 チャンピオンズカップは住友商事が優勝。
金田会長	辞退4社が人数不足によるということであれば、本当にリーグを継続すべきかを改めて考えて欲しい。 かなり厳しい状況にあることを認識して欲しい。
役員会/高柳	・役員会、幹事業務について 資料を参照。阪和興業は商社リーグ辞退だが、議事録担当の副幹事として運営に貢献。 議事録のみの参加は自主運営のポリシーがあるからこそ。

金田会長	・勝ち点減点、チーム警告辞令について 資料P9は代表者全員が一度読み込んで欲しい。 運営要綱のルールを緩めることも可能、タスクフォースをつくり取り組んでいる。 ・グラウンド利用料推移 現在は人脈や交渉によりコストを抑え使用できている状況。ただ年間100万円以上かかり財務的に非常に厳しい状況。 コアバリューの中でもPrideについて共感。住友商事に昨年度決勝戦で大敗し、Prideが傷つき、今ではチーム全体の動力となっている。
3. 主要項目の前年度比較及び注意事項	
伊藤忠商事/小坂 役員会/浅井	・主要項目の変更点 参加チームが10チームから8チームへ変更。リーグ戦・カップ試合数30試合→34試合へ変更。 参加費用18万円→22万円。辞退2チーム、HP運用費のエンジニア費用上昇。 試合数が増えたことは嬉しいと思う。チーム一丸となって戦い一部優勝を目標としたい。
双日/中井 役員会/浅井	・みらい平グラウンドの利用上の注意 ウォーミングアップ場所、立ち入り禁止エリア共有、グラウンド利用前の同意書署名の徹底。 グラウンド利用料について説明。 同意書については中長期的にコスト押さえて使用していくために重要な項目。
4. 運営要綱	
金田会長 役員会/浅井	変更点は、チームデータ登録後の初回の試合不可日登録の間は追加登録・変更を行うことは不可とした点。 阪和興業のモニタリング対象は今年度より解消。
金田会長	1年間の30分間だけ、優秀な皆さんの時間をいただいて読み込んで欲しい。
5. 新幹事挨拶	
阪和興業/上田	今年度議事録担当を主に担当。 人数不足により商社リーグは不参加という状況。一方で、運営面で貢献したく参加。 目標は来年度商社リーグ参加に向けてチームの構築。まずは8月3日のフットサル大会参加に向けてチームをまとめて練習していく。
豊田通商/中川	副幹事として名簿関連、代表者名簿・チームデータのとりまとめを担当。今季最後の表彰式を担当。 チームとしては8月3日のフットサル大会はメンバーが揃わない中で合同チームとして参加させていただけることに感謝。 副幹事としての業務はミスなくやっていけるように頑張りたいと思う。
JFE商事/野村	副幹事として試合集計は当たり前に行っていく。 JFE商事が先頭に立って盛り上げられるよう頑張っていきたい。チームとしても商社リーグとしてもWINWINを目指す。
三井物産/古市	これまで比較的受け身になっていたところがある、商社リーグに対して何ができるのか考えて積極的に関与していきたい。 今年一年しっかりと取り組んで来年につなげたい。
住友商事/小山	主幹事を務める上でサッカーを楽しめる環境を模索しながら提供できるようにしたい。 自チームとしてはコミュニケーションをとり円滑な組織運営をしていきたい。また、勝つこと結果にこだわることを意識して取り組んでいきたい。
金田会長	幹事・主幹事として自分がやるからこそそのValueを付け加えて担当してほしい。
三井物産/周藤	せっかくやるなら郵便局員のような仕事ではなく、少しでもValueを提供して業務内容を遂行して欲しい。 WinWinの関係を作り上げていくことが理想。全チームがいい気分で参加できる体制が理想だと思う。
阪和興業/米山	今回の会議は再認識する場になったと思っている、これをきっかけにより良い運営をできるようにしていきたい。 Value Propositionを意識し、仕事にも活かしていきたい。 商社リーグの運営努力について色々な学びがあった。チームへ持ち帰り共有し皆の意識レベルを底上げしたい。
金田会長	伝えたいことは三つ。 ①運営要綱へのコミット、②主要な部員への情報のトランスファー、③対外的、リーグに対する立ち位置のグリップ 以上を大切にしたい。
日鉄物産/川上	昨年度議事録作成担当であったが、右から左に流すだけであったことを反省している。 一方で、人数集めに関しては成功しているので、リーグの繁栄に貢献していると考えためしっかり取り組んでいきたい。
豊田通商/山本	商社リーグを見つめ直しリーグの為にコミットする運営要綱に則ることは前提。 ここ数年メンバー線りに苦労しているが、コミュニケーションを取って今年は成功させたい。
住友商事/倉持 日鉄物産/阿部	商社リーグに対して高い視座を持てるようになった。今日思ったこと、感じたことをチームへ還元していけるようにしたい。 いかに商社リーグが素晴らしいかを今日で理解できた。傍観者にならず実業家として行動できるよう、かつチームメンバーへ 広げていけるようにしていきたい。
6. 予定と開幕準備の状況	
役員会/高柳	メーリングリスト登録については全社出揃っている。 代表者登録については豊田通商より役員会へ提出済み。 8-9月不可日、グラウンド不可日申請については住友商事のところへ各社提出済み。 三井物産のみ年度不可日申請が未提出。不可日は毎月15日までに発信いただく。
兼松/曾根原	ユニホームが盗難被害にあった。8月14日には新しいユニホームが届く予定。8月19日の週に正式チームデータを提出予定。 豊田通商がとりまとめるチームデータ申請、三井物産のみ未提出。
7. 運営要綱遵守宣誓	
下記順番で運営要綱遵守について宣誓。 伊藤忠商事/山田、兼松/曾根原、JFE商事/小笹、住友商事/小山、双日/佐藤、豊田通商/中川 日鉄物産/川上、阪和興業/上田、三井物産/古市	
8. おわりに	
商社リーグ、この世の中で評論家ではなく事業家として行動を起こしてほしい。 最後にValue Proposition、これを知らないと欧米では恥ずかしいのでしっかり意識しておくこと。 短期的な利益より長期的な目線を持って行動してほしい。	

以上